

R体αリポ酸・γCD包接体

ヘモグロビンA1cの低減効果を確認

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03-5661-7147)は、R体のα

リポ酸をシクロデキストリンで包接させた「R体αリポ酸・γCD包接体」の摂取により、HbA1cの値が低減することが確認されており、抗

糖素材として提案を強化する構えだ。

京都薬科大学との共同研究で、II型糖尿病モデルマウスを用いた試験を実施。

通常のαリポ酸は、体内に存在するR体と、本来存在しない非天然型であるS体の両者を含

有するラセミ体として流通しているが、試験の結果、R体αリポ酸・γCD包接体を投与した群のみが、コントロール群やS体αリポ酸包接体投与群、ラセミ体αリポ酸包接体投与群などと比べて有意にHbA1cを低下させることが明らかになった。

同社では、環状オリゴ糖「γ-シクロデキストリン(γ-CD)」によって、単独では不安定なR

体αリポ酸を包接することで、安定性や吸収性の大幅な向上に成功している。

同試験の内容は、論文掲載される予定だ。

αリポ酸は生体内でも合成され、糖代謝するなどでATPを産生するなど、重要な役割を担っている。

一方で、加齢に伴い、その合成量は減少するため、サプリメントで補う必要があるとされる。